

2011年9月16日/千葉大学総合校舎A号館2階大会議室
アカデミック・リンク・セミナー(第3回)「著作権!著作権?著作権!?」
参加者 アンケート集計結果

当日参加者数: 47名 アンケート提出数: 32件

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・公衆の範囲
- ・現在の使い方が何とか合法とわかり安心しました。
- ・所属大学で、ある教員から今日のお話のようにサーバーに参考文献を UP して使えないかという相談がありその際には難しい旨お話ししたが、そうしたことが広くいろいろな大学で関心を持たれていること、大学側からの働きかけ次第では可能になるかもしれないとわかった。
- ・著作権と大学教育についての基本的な問題が論議されたので興味深かったです。
- ・サーバー蓄積型の e ラーニングへの著作権規定がないこと。
- ・e ラーニングにおける著作権の問題についてよくわかった。著作権について大変勉強になりました。
- ・この問題を早く整理しなければ、ますます教育、研究の停滞を招くと理解した。
- ・現状 e-learning での利用は難しいのだということがわかりました。
- ・授業で Copy を配布できる条件などの概要が分かったことは有益であった。
- ・不確実な記憶部分を確認できました。
- ・公衆送信などに関して勉強になりました。
- ・著作権の基本的知識もしりたかったので、丁寧な説明があつてよかったです。
- ・サーバー蓄積型ラーニングにおいてゼミ資料の蓄積がある部分において認められた権利であるということがわかりほっとしました。
- ・技術進化による学習・教育の進化をスムーズに進める難しさを実感いたしました。
- ・e-learning に関わる著作権の仕組みがこんなにも複雑なのかと非常におどろいた。
- ・e-learning と著作権について、現況がよくわかりました。
- ・著作権について、かなり詳細に課題面を理解できました。アカデミック・リンク・センターの今後の取り組み方針なども判りました。今後の取り組みに期待しています。
- ・授業で配布できる資料と、サーバーにアップできる資料の差についてある程度理解できた。
- ・著作権の基本的な考え方方が理解できた。かなり深い議論があつたが、もっと日常的な問題について学内で継続して話し合えたらと思った。「白」「灰」「黒」といろいろなゾーンがあると思うが、Q&A の形式で 蓄積していくとよい。
- ・「授業で使う」(予習も含めて) というポイントが大切とよくわかりました。大学の授業サポートの準備作業をもっと早めにすすめようと思いました。
- ・e-learning において困難な問題(たとえば公衆送信権 etc)について大学全体で要望することで法改正の可能性があること。
- ・対面授業と e-learning の違い
- ・各大学で色々とやっている状況でしたので、e-learning 環境でのコンテンツ利用について大学全体で(一大学だけでなく、という点で) 意思統一が図れていないことにおどろきました。もっと広がればまとまるのでしょうか。
- ・著作権法の制度のなかで、教育での利用が現在の社会状況に十分則していないなかで、学校、大学がこの問題に組織的に対応できていないことがよくわかった。大学全体をどうにかする必要があると思った。
- ・教材作成上の留意点。本学内での Moodle etc. の実用状況
- ・教育現場での著作物の扱いが難しいことがよくわかりました。活きた話を聞いて大変勉強になりました。
- ・教育機関における授業利用に限ると著作権の扱いが相当大目に見てもらえる程度の理解であったが、現状でのその具体的な線引きや問題点が解ったことは非常に有意義でした。
- ・著作権という概念が想像以上に狭義のものであったこと。
- ・ネットで配信は来られなかつた人も見ることができ便利ですが今回は発信者がそれを大きな制約に感じて思うことを言えなかつた面が多かつたように思いました。せっかくの生のセミナーのメリットを損なうならば配信前提でない方がよいのではと思います。言いたいことをいえなければ本末転倒ではないでしょうか。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかつたこと、疑問に残つたことがあればお書きください。

- ・国（政府、国会？）か国際機関がわかりやすく整理することが必要
- ・法律の解釈が難しいこともあるが、法律自体が時代に追いついていない印象をもつた。
- ・相談窓口など
- ・質疑において具体的な事例も交え、参考になりましたが、演者どうしのやり取りが多く聴衆が取り残されている印象を受けました。現在の法体制の中で良い教材を作るための建設的な議論が無いのが残念でした。
- ・「権利者の利益」って何だろうか？
- ・サーバー蓄積型の e-learning が同一構内で「授業」限定で認められていると知って（すみません、不勉強で）考えさせられました。
- ・著作権人格権についての議論や出自（背景）があれば知りたかった。（財産権ではない部分について、議論がどんな人たちによってなされているのか？）
- ・特にありません。
- ・個々の事例はケースバイケースであり、個人の解釈は危険だと思う。このことから、グレーゾーンではなくとりあえず安全なラインはどこなのか、まちがいなくやれることをまとめてあるといいと思いました。（難しいことですけど）
- ・e-learning で著作物を利用するためには①許諾をとる②そのための環境づくり（社会的なものを含め）をすすめる、しかいのだなと思いました。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・動画配信に関心があったので、次回また参加したいと思います。
- ・教育、研究の現場で商業的に作成された電子コンテンツ（電子書籍など）を理想としてはどういう利用をのぞまれているのか。その実現の障害となっているのはなんでしょうか。ユーザー側の立場の意見を聞きたい。
- ・著作権をクリアした e-ラーニング の実践的なビジョンの模索のようなゴール像のあるセミナーを期待します。
- ・個別の問題を現場から集めて、今一度「尾崎先生」にお考えを伺えるような場所があるとよいと思う。
- ・「生涯学習にくりかえし使えるらせん的な e ラーニング のあり方について」テキストやワークブックとしての電子出版物と（紙）出版物の使い方の動向など。
- ・次回の動画配信のテーマを楽しみにしています。

4. 本日のセミナーの内容、電子出版、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

- ・教育場面において、教育利用での著作権を完全にクリアしたコンテンツを豊富に用意する必要性を感じた。
- ・このセミナーを通して文化庁への要望書作成へつながればよいと思います。
- ・著作物を電子化する際の許諾を取る手間を考えると e-learning の運用というのは非常に困難であるのだと思いました。
- ・ AFP が学生でも使えるか気になりました。
- ・現状について内部の模様が一般的に知られていないという問題があると思います。大学教育の情報化についてまずは一般的によく知られたものにすることも肝要であるようにも思いました。
- ・私の仕事的にタイムリーなテーマでした。ありがとうございます。
- ・このセミナーで行われた議論も含めてとても有意義でした。ありがとうございます。
- ・今後の本学の e-ラーニング を進める上（著作権の問題）での基本的な考え方を示した方がよい。
- ・ディスカッションのやりとりがおもしろかったです。ただ、セミナーの内容を後日ネットで動画公開することで、議論に制約があったように感じた。対面のみであればもう少し踏み込んだ意見交換もなされたかもしれない。これも対面とネットの制約の違いだろうか。
- ・図書館における電子化の動向とそこで生じ（う）る問題点（文献複写を電子ファイルの形で行うことがなぜ実現されていないのか、知りたい。）
- ・カラオケにおける JASRAC のように許諾をとらずに支払ができる組織が必要では？
- ・今回は教育現場で困っている実状と文化庁で法律遵守を管理していた立場からの両方の話を聞くことができ現場で合法と思っていても文化庁の立場では不可ということもあります、しかし実際こういう機会がないと現場では公式見解を知ることもなくかい離が広がっていきそうと思いました。国大協等からのはたらきかけが必要との

- 指摘があり今後の検討課題だと思いました。
・ディスカッションでは明らかになったがプレゼンのとき e-learning に則した話題提供をしていただきたかった。

5. 該当するものに○をつけてください。

- ア 学外から参加 (12 件) イ 学内からの参加 (19 件) 無回答 (1 件)
a 学生 (3 件) b 教員 (13 件) c 大学職員(図書館員も含む) (9 件)
d 出版関係 (1 件) e.その他 (5 件) 無回答 (1 件)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。 (既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

※13 名が新規に継続的な情報提供を希望

以上

2011年9月16日/千葉大学総合校舎A号館2階大会議室
アカデミック・リンク・セミナー(第3回)「著作権!著作権?著作権?」
参加者 アンケート

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

4. 本日のセミナーの内容、電子出版、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

5. 該当するものに○をつけてください。

ア 学外から参加 イ 学内からの参加

 a 学生 b 教員 c 大学職員(図書館員も含む) d 出版関係 e. その他

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外 ()

ご協力ありがとうございました。